

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。

## 使用上の注意改訂のお知らせ

5-HT<sub>1B/1D</sub>受容体作動型片頭痛治療剤

劇薬、処方箋医薬品

**エレクトリプタンOD錠20mg「アメル」**

ELETRIPTAN OD

〈エレクトリプタン臭化水素酸塩口腔内崩壊錠〉

2023年3-4月

 共和薬品工業株式会社

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、『エレクトリプタンOD錠20mg「アメル」』の【使用上の注意】を改訂致しますので、ご使用に際しましては、下記内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

【改訂内容】(下線——部 改訂箇所)

改訂後	現行電子添文(2020年2月改訂)																					
<p><b>【禁忌(次の患者には投与しないこと)】</b> (1)~(6)ー現行のとおりー (7)エルゴタミン、エルゴタミン誘導体含有製剤、他の5-HT<sub>1B/1D</sub>受容体作動薬、HIVプロテアーゼ阻害薬(リトナビル)、あるいはニルマトレルビル・リトナビルを投与中の患者〔「相互作用」の項参照〕</p>	<p><b>【禁忌(次の患者には投与しないこと)】</b> (1)~(6)ー略ー (7)エルゴタミン、エルゴタミン誘導体含有製剤、他の5-HT<sub>1B/1D</sub>受容体作動薬、<u>あるいはHIVプロテアーゼ阻害薬(リトナビル、インジナビル硫酸塩エタノール付加物、ネルフィナビルメシル酸塩)</u>を投与中の患者〔「相互作用」の項参照〕</p>																					
<p><b>3. 相互作用</b> (1)併用禁忌(併用しないこと)</p> <table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="3">ー現行のとおりー</td></tr><tr><td>HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル (ノービア)</td><td>本剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇するおそれがある。</td><td>本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少する。</td></tr><tr><td>ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド)</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	ー現行のとおりー			HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル (ノービア)	本剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少する。	ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド)			<p><b>3. 相互作用</b> (1)併用禁忌(併用しないこと)</p> <table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="3">ー略ー</td></tr><tr><td>HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル、<u>インジナビル硫酸塩エタノール付加物、ネルフィナビルメシル酸塩</u></td><td>本剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇するおそれがある。</td><td>本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少する。</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	ー略ー			HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル、 <u>インジナビル硫酸塩エタノール付加物、ネルフィナビルメシル酸塩</u>	本剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少する。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																				
ー現行のとおりー																						
HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル (ノービア)	本剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少する。																				
ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド)																						
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																				
ー略ー																						
HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル、 <u>インジナビル硫酸塩エタノール付加物、ネルフィナビルメシル酸塩</u>	本剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少する。																				

【改訂理由】

以下の項目を改訂し、注意を喚起することと致しました。

自主改訂

「【禁忌】」、「3. 相互作用(1)併用禁忌」の項：

相手薬剤との整合性を図るため、改訂しました。

(インジナビル硫酸塩エタノール付加物は国内未発売、ネルフィナビルメシル酸塩は国内販売中止)

以上

これらの情報は、2023年4月に発行予定のDSU No.316に掲載致します。

なお、改訂情報は弊社ホームページ <http://www.kyowayakuhin.co.jp/amel-di/> 及びPMDAホームページ「医薬品に関する情報」(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)に改訂指示内容、最新の電子添文並びに医薬品安全対策情報(DSU)が掲載されます。あわせてご利用下さい。

お問い合わせ先：共和薬品工業株式会社 安全管理部 大阪市北区中之島 3-2-4  0120-041-189